

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（8月）

留学先：フィンドレー大学（The University of Findlay）

氏名：小田悠菜

こんにちは！この報告書を書くのも2回目、あっという間に2か月が過ぎてしまいました。今回の報告書では、私が普段取っている授業や生活スケジュールについて紹介したいと思います。以下に今期私が履修している時間割を記載します。

	月	火	水	木	金
8:00-9:15		Macroeconomics		Macroeconomics	
9:30-10:45		Art Appreciation		Art Appreciation	
10:00-11:00					Experience in Japanese240-3
12:00-12:50	Writing				
13:00-13:50	Writing		Writing		Writing
14:00-14:50			English for Specific Purpose		English for Specific Purpose
16:00-17:00		Experience in Japanese240-1	Experience in Japanese240-3		

*フィンドレー大学では福井大学のように1コマ分の授業の長さが決まっていません。授業の単位数によって授業の頻度や長さが変わるからです。上記も授業の長さに合わせて記載しているので、時間帯がオーバーラップしている部分があります。

現在履修している授業の中で最も大変な授業は何といても Macroeconomics です。単位交換可能な授業かつ私の興味がある Marketing の授業の先週科目だったこともあり、履修することを決めました。しかし日本でも経済を勉強したことがない私にとって専門的な内容と単語を英語で理解することは大変難しく、もはや単位交換どころか単位が取れるかどうか危ういです…。単位習得に向けて日々課題に取り組んでいます。そんな授業にまずいってしまった学生や英語を十分に理解できない留学生のためにフィンドレー大学にはいくつかの学習サポートシステムがあります。Academic Center では学生によるチューターシステムを受けることができます。ELL Support Center では留学生向けの学習サポートを受けることができます。先生のオフィスアワーにオフィスを訪ねれば、先生が質問に対応してくれます。これらの施設を利用しながら日々勉強に励んでいます。

Experience in Japanese 240-3 の授業ではフィンドレー大学の近くの小学校を訪れ、現地の小学生に日本文化を教える活動をしています。日本とは違ったスタイルの授業

を見学できたり、子供たちと交流できたりと普段の学校生活ではできない体験をさせてもらっています。また、今月は短期プログラムで来ている加計学園の学生さんたちと一緒に校内で Kake festival を開催しました。私はおにぎりのブースを担当し、この festival でも多くの人に日本文化を楽しんでもらうことができました。

授業や課題に忙しい平日と対照的に週末は楽しい予定を入れるように心がけています！友達と集まってご飯を作ったりボランティア活動に参加してみたりしています。ただ、学校の周りは交通の便が悪く気軽に利用できる公共交通機関がありません。Labor Day という 3 連休に Hancock County Fair というお祭りがあったのですが、そこには片道約 45 分かけ会場まで歩いていきました（笑）



訪問した小学校
 Kake festival のおにぎりブース
 Hancock County Fair で見つけたかわいい屋台
 インドカレーとおにぎりのみそ汁のご飯会
 ボランティア活動の様子

